

令和元年度一般社団法人えんがる町観光協会 第14回理事会 議事録

1. 開催日時 令和元年 10 月 29 日（火） 13 時 30 分
2. 場 所 福祉センター5F2 号会議室
（北海道紋別郡遠軽町岩見通 2 丁目 2-15）
3. 出席理事 代表理事 遠藤利秀
業務執行理事 伊藤友彦、矢木 優、杉本一幸、山崎満弘
理事 高橋泰行、益井伸也、岩上孝義、柴田和浩、磯貝勝幸、橋本政司、藤井 勇、秋田 博、加藤澄雄
4. 欠席理事 理事 高橋義詔、能正直樹、今野政男、山崎幸治、
5. 出席監事 高橋秀視、高橋 久
6. 欠席監事 なし
7. 議 長 代表理事 遠藤利秀
8. 事務局 事務局長 小林昌樹、事務局次長 福田比呂子、事務局員 保科達矢、事務局員 藤田徳幸、丸瀬布地域事務担当 工藤敏広、生田原地域事務担当 福田幸雄、白滝地域事務担当 内河智美
コスモス園管理棟館長 多田 久
道の駅駅長 佐藤茂、道の駅施設管理 森谷正

9. 議事録作成者 事務局長 小林昌樹

10. 議事の経過の概要及び議決の結果

専務理事は出席理事数を確認し本理事会議案が過半数である 8 名以上をもって議決されることを確認して議事に入った。

(1) 報告第 1 号 事業経過報告及び遠軽 I C 道の駅報告

議長は、事業経過報告について事務局に報告を求めた。

事務局長は、令和元年度のこれまでの主な事業について報告、説明を行った。また、遠軽 I C 道の駅オープンイベント等経費として補正予算が議決され、単年度事業費に計上されることを報告した。さらに今年度の今後の事業について予定されているイベントのスケジュールを確認した。

道の駅駅長は、遠軽 I C の開通日 12 月 21 日と発表されたこと、オープンイベントの内容を詳しく報告した。また、その 1 週間前の 12 月 14 日、15 日の 2 日間に町民限定のプレオープンイベント（内見会）を行い、その日は通常営業を行うと説明した。

また建物内には、11 月 11 日より備品関係の搬入が始まり、現在準備室のある木楽館からは 11 月 12 日より移動を開始することを報告した。

また、理事の内見会については備品の搬入・陳列が終わるのが今月末から来月の上旬になるので、それが終了後をお願いしたいとし、日程については改めて報告したいとした。

最後に募集人員について、必要数の 95% の人員確保が出来ておりオープンに向けて調整が必要になるが、大きな支障が無いと考えているとの見解を示した。

議長は令和元年度事業報告全体について意見を求めた。

岩上孝義理事は、道の駅で販売する商品は何かと質問した。

道の駅駅長は、遠軽町の特産品・農産物、オホーツク管内の特産品を販売の他、町民に買い物をしてほしいと考えているため、そのような商品を考えていると説明した。また、一般的な道の駅で販売している「お土産」というカテゴリーはほとんど置かず、日常生活の中で、例えば必要なものであり、札幌などに行かなければ買うことが出来ないものをピンポイントでセレクトし、品揃えを丹念にしていくと説明した。

岩上孝義理事は、販売する食べ物は何かと質問した。

道の駅駅長は、町内の飲食店の商品、箱菓子ではなくバラの商品を経木のワッパに入れて販売すると説明した。

また農産物については生産者だけではなく J Aからも仕入れ、海産物については湧別の湧鮮館を主体で仕入れを行うと説明した。

柴田和浩理事は、道の駅に屋外店舗は無いのかと質問した。

道の駅駅長は、屋外のテナントブースには 4 店舗が入り、事前の公募で 2 店舗が確定しており、直近で残りの 2 店舗についても出店の申し出があった。ただ全ての店舗が 12 月のオープンで出揃いではなく、現状では 1 店舗のみで、来年の春に向けて全店舗が営業することになると説明した。

(2) 議案第 1 号 令和 2 年度事業計画 (案)

(3) 議案第 2 号 令和 2 年度事業予算 (案)

議長は、議案第 1 号と議案第 2 号は関連性があるとし、一括して事務局に説明を求めた。

事務局長は資料に沿って全体を説明した。特に令和元年度と比較して大きく変化する部分についてその理由も含め詳しく説明した。

議長は令和 2 年度事業全体について意見を求めた。

遠藤会長は、事務局長の説明に補足し、人件費の予算が上がっている理由を説明した。

秋田博理事は、来年度は生田原の夏祭りが 50 周年の記念行事になるため、予算増についての理解を求めた。

高橋久監事は、予備費を計上していない理由を質問した。

事務局長は、現段階では計上していないが、決算を終えた後に計上できる金額があれば計上すると回答した。

高橋秀視監事は、道の駅の事業予算 (案) が掲載されていないのは何故かと質問した。

遠藤会長は、道の駅の予算については 3 年間の収入・支出が既に決定されていないため掲載していないと説明した。決算が終わり次回の総会には掲載すると説明した。

岩上孝義理事は、バスの利用について質問した。

矢木優業務執行理事は、今後道の駅従業員を送迎なども考えていかななくてはならないと見解を示した。

遠藤会長は、観光協会の中で活用するというのを道の駅の利用について考えていかななくてはならないと見解を示した。

(4) その他

特になし。

以上をもって発議、意見開陳は無しと認められたので、議長は議事を終了した旨を述べ、14 : 30 に閉会した。

以上の決議を明確にする為この議事録を作成し議長及び議事録署名人がこれに記名押印する。

令和元年 10 月 29 日

一般社団法人えんがる町観光協会

議長 会長 (代表理事)

遠藤利秀

監事

高橋秀視

監事

高橋 久

原本には押印あり